

分野	森林を育成する治山			事業番号	34	事業名	水源地域等保安林整備 (奥地保安林保全緊急対策)				
市町村名	辰野町	ふりがな 箇所名	こまざわ 駒沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~		H27 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工6個、森林整備35.00ha				H23年度末 事業進捗率		-			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース		-			
	H24年度実施内容	森林整備3.00ha				用地補償費ベース		-			
	年度	全体事業費		H22年度まで	H23年度	H24年度		H24年度以降			
財源内訳	事業費計(千円)	90,000				12,000		90,000			
	国庫支出金	45,000				6,000		45,000			
	その他										
	県債	40,500				5,400		40,500			
	一般財源	4,500				600		4,500			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	(20)	必要性	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸			A	3	
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし			5			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし			0			
		保全対象(保安林・林業用施設)		「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満				7	
		小計								15	
	(15)	重要性	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし			B	3	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小			3			
		防災計画上の位置づけ	あり	なし						5	
		小計								11	
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満			A	10	
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上			5			
		流域の総合調整	あり	なし						3	
		小計								18	
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上			B	1	
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)			6			
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)			3			
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク	なし				4	
		小計								14	
	(20)	計画	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない			A	10	
熟度		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない			3			
住民参加の状況		住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない			3				
小計								16			
費用対効果(B/C)		7.18		評価の合計			B	74			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	治水・利水を目的とした駒沢ダムが平成6年度に事業着手されたが、平成13年度に「脱ダム宣言」によりダムの建設中止の方針となった。その後ダム流域協議会によってダムによらない治水対策を行うこととなった。中・下流域において建設部で流路の整備をおこない、上流域において林務部で森林整備を中心とした整備をおこなっている。平成23年度で県営公益事業による森林整備が完了するため、上流域の発生源対策として谷止工と森林整備により災害に強い森林づくりを行っていく。									
	地域からの要望経緯	平成22年度駒沢流域協議会より要望書(提言書)が提出された。									
	事業説明等の経緯	平成23年7月11日に森林所有者である駒沢区に事業導入にあたっての説明会を実施した。									
	環境・景観への配慮項目	小野地区の重要水源であるため、森林整備を実施し水土保持を図る。									
	他事業・プロジェクトとの関連	駒沢川の中・下流域について建設部で流路の整備を実施した。上流域の人工林について林務部で森林整備を実施する。									
特記事項	特になし。										
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	小野地区の重要な水道水源森林の荒廃が進んでおり、豪雨のたびに取水施設に土砂が流出している。そのため施設整備と森林整備を一体的に進め、森林の持つ水源かん養機能と土砂流出防止機能の高度発揮を早急に図る必要がある。			政策評価課意見	必要性が認められる。						